

# 令和6年度決算状況

## 141億3,747万円

(一般会計・特別会計歳出決算額合計)

### 会計別決算状況

会計	歳入額	歳出額	差引額
一般会計	89億4,827万円	83億7,864万円	5億6,963万円
国民健康保険事業勘定	24億9,894万円	24億8,219万円	1,675万円
国民健康保険特別会計 診療所施設勘定	1億57万円	1億13万円	44万円
後期高齢者医療特別会計	7億7,968万円	7億4,613万円	3,355万円
介護保険特別会計事業勘定	25億3,546万円	24億3,038万円	1億508万円
合計	148億6,292万円	141億3,747万円	7億2,545万円
前年度比	+3億2,399万円	+5億4,329万円	▲2億1,930万円

### 基金現在高 (まちの預金)

財政調整基金	17億3,699万円
公共施設整備基金	1億7,737万円
町債管理基金	9,320万円
文化振興基金	552万円
退職金等引当基金	3億3,857万円
ふるさとづくり基金	1億3,565万円
物品調達基金	300万円
介護保険介護給付費準備基金	10億1,515万円
旧吉川財産区基金	3,671万円
森林環境譲与税基金	490万円
土地開発基金	7,520万円
合計	36億2,226万円
前年比	+1億1,505万円

※基金現在高は令和7年3月末の額です。

### 町債現在高 (まちの借金)

一般会計	52億1,607万円
前年度比	+5,637万円

## 財政健全化判断比率

### ○財政健全化判断比率とは

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、財政健全化指標等を公表することが義務付けられています。指標が基準を超えた場合には、早期健全化計画あるいは財政再生計画を策定し、早急に改善に取り組まなければなりません。豊能町の令和6年度決算に基づく各指標は、以下のとおりで、いずれの指標も基準以下となっています。

### ○健全化判断比率

財政の早期健全化や再生の必要性を判断する4つの財政指標です。  
(単位：%)

指 標	豊能町の数値	国の基準
実質赤字比率 一般会計が、黒字か赤字かを判断する指標	—	14.93
連結実質赤字比率 特別会計・公営企業会計を含めて黒字か赤字かを判断する指標	—	19.93
実質公債費比率 公営企業や一部事務組合などを含めて、町が実際に負担した公債費の割合を示す指標	5.6	25.0
将来負担比率 公営企業や一部事務組合などを含めて、町が実質的に負担しなければならない負債を示す指標	—	350.0

※「—」は赤字または将来負担が無いことを表しています。

### ○資金不足比率

事業の規模に対する資金不足額を、公営企業ごとに示す指標です。  
(単位：%)

指 標	豊能町の数値	国の基準
下水道事業会計	—	20.00

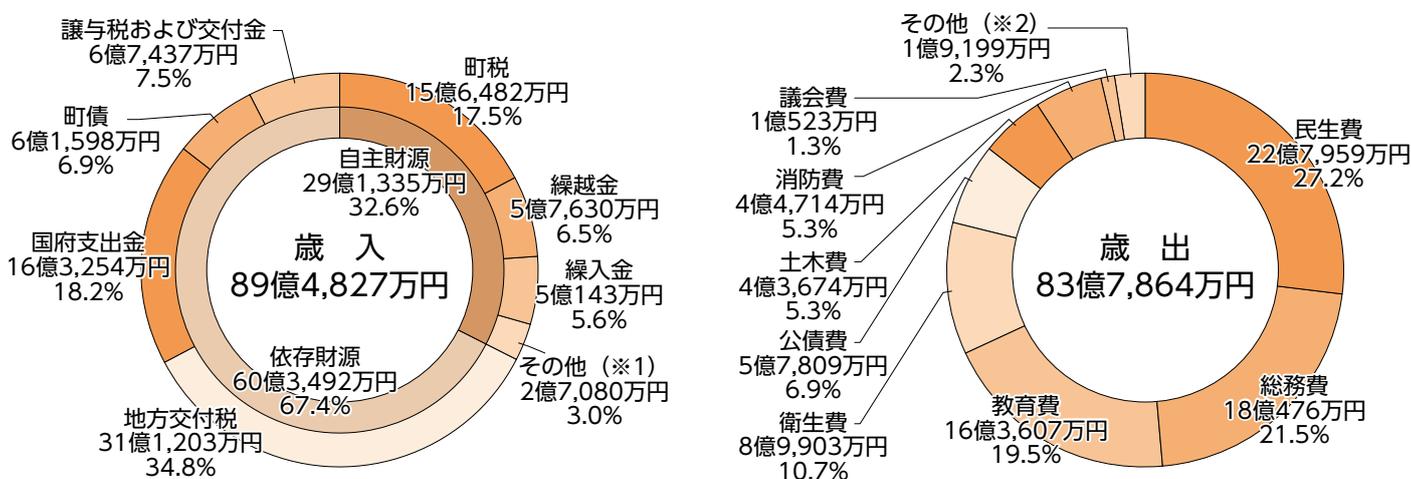
※「—」は資金不足が無いことを表しています。

# 一般会計の決算状況

一般会計の決算状況は、歳入総額が89億4,827万円、歳出総額が83億7,864万円であり、翌年度に繰越す事業の財源4,862万円を除くと、5億2,101万円の黒字となりました。

歳入は、町債の増などにより、前年度より10億970万円の増となりました。主たる財源である町税は15億6,482万円となり、1億2,279万円の減となりました。また、国庫支出金は1億3,463万円の増、地方交付税は4,088万円の増となりました。自主財源の割合は、前年度より0.1%減の32.6%となり、地方交付税などの依存財源の割合は、67.4%と財源の3分の2以上を占め、依然として厳しい財政状況が続いています。

歳出は83億7,864万円で、小中一貫校施設整備事業が大きく影響し、前年度より10億1,637万円の増となりました。



※1 分担金および負担金、使用料および手数料、財産収入、寄附金、諸収入 ※2 農林水産業費、商工費、労働費

## 令和6年度に実施した主な事業

小中一貫校施設整備事業	5億4,415万円
西地区の小中一貫校施設整備工事を実施しました。	
光風台小学校改修事業	4,817万円
西地区の小中一貫校施設整備工事期間中、吉川中学校生徒が光風台小学校において学習するために必要な環境を整えました。	
ことばの力向上推進事業	280万円
英語教育の更なる充実を図るため、ウェブアプリを利用した英語学習等を行いました。	
高校生通学費補助事業	440万円
本町在住で高等学校等に通学する生徒に対し通学費用の一部補助を行いました。	
移住就職応援事業	51万円
移住促進と民間企業等の人材不足を解消することを目的に、大阪府外から移住された方を対象に移住応援金等の支給を行いました。	

基幹系システム標準化対応事業	9,126万円
標準化法により義務付けられた基幹系システムの標準化に向けて、標準システムを導入するための対応作業を行いました。	
防災備蓄品緊急整備事業	200万円
巨大地震発生時等、災害発生時の避難所生活者数を想定した備蓄品の整備を行いました。	
独居高齢者等見守り事業 (特別会計)	30万円
ひとり暮らし高齢者等を対象とした緊急通報装置貸与と事業等を改編し、新たな見守り体制の構築を図りました。	
豊能郡環境施設組合負担金事業	1億2,701万円
豊能郡環境施設組合による、ダイオキシン類を含む廃棄物管理施設整備にかかる費用の一部を負担しました。	
シートス改修事業	3,530万円
シートスの高圧受電設備や消防設備等の改修工事を行いました。	

※グラフおよび各表の数値は、決算数値を1万円単位で端数調整しているため、合計や差額が一致しない場合があります。